

射水市総合計画審議会 第3回活力元気部会 会議録(要旨)

日時 令和4年4月18日(月) 午後7時~8時30分

場所 射水市役所本庁舎3階会議室

出席者

(委員)

岩口久梨果、牛塚松男、大西宏治、尾山春枝、古池清一、笹川征一、塚本清、津田奈由子、牧田和樹、森由佳子、亘建邦

欠席委員：なし

オブザーバー：松本三千人(リモート参加)、宮田妙子(リモート参加)

(当局)

宮本産業経済部長、吉田都市整備部長、夏野上下水道部長、福井産業経済部次長、山口都市整備部次長、南上下水道部次長、盛光商工企業立地課長、久々江観光・定住課長、遠藤農林水産課長(農業委員会事務局長)、橋本都市計画課長、山下道路課長、酒井建築住宅課長、堀上下水道業務課長、前田上水道工務課長、森下水道工務課長、杉本企画管理部次長、菅原政策推進課長

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議事

(1) 全体構成について

政策推進課長	資料1~4に基づき説明
部会長	資料2の全体構成の建付けについて意見をいただきたい。
委員A	ライフステージで区切るのはこれでよいが、今示しているのは標準的な人たちの動きだと思う。そうではなく、色々な人たちもここに入っていることも示す必要があると思う。インクルーシブの観点がそれに当たると思うが、それが表に見えてこない。具体的なアイデアはないので相談が必要だと思う。
部会長	このライフステージを踏まえ、ウェルビーイングの観点、基本計画の観点、資料3の主な取組の内容など意見をいただきたい。
委員B	「射水で学ぶあなたへ」の主な取組は、普通に学校に通う児童生徒の内容だけだと思う。学校に通いづらい人たち(精神的になど)の居場所ができるような取組を増やしては。
事務局	ライフステージ「射水で育つあなたへ」の「子ども・若者が未来に希望をもち、健やかに育っている」にある「困難や課題に寄り添い支える体制を強化する」に入ってくる。
委員C	基本計画にある「家庭・地域の教育力を高める」という言葉にひっかかる。資料3をみると「家庭学習の推進」「基本的生活習慣の定着支援」「地域における学習・体験の場の充実」とあるが、「家庭学習の推進」「基本的生活習慣の定着支援」のイメージが湧かない。なんとなく上から目線でやりなさいと聞こえる。
部会長	従来教育は学校だけで行われていたが、これからはPTAやふるさと教育も含め家

庭と地域社会が連携して、子ども達を育てていくということである。

委員 C そうであれば、教育力を高めるという文言ではなく、家庭・地域との連携を深めるといった言葉の方が適切だと思う。

委員 A 共通事項を全体にばらまいているが、どこにかかっているのか見えてこない。本来、主な取組に共通事項がばらまかれていると思うが、DX 以外をどう読み解けばよいか分からない。

事務局 共通事項については、あえて言葉を取り除いた。インクルージョンに関することは、「暮らす」の「自分らしく あなたらしく」にある「誰一人取り残さないための支援体制を強化する」の「多様性・ジェンダー平等」「男女共同参画」あたりにまとめている。また社会参加などにもまとめている。

委員 A 共通事項については、アイコンをつけると分かりやすいかなと思う。
インクルージョンについては、現代社会においては重要な話になると思うので、分かるようにした方がよいと思う。

部会長 共通事項は基本方針のところに書くべきではないかと思う。基本方針を進める上での共通方針とするのが正しい置き方だと思う。計画の共通項目ではなく方針の共通項目だと思う。概念、ベースとなる考え方だと思うので、方針に落とし込むべきだと思う。

委員 D 色々と記載してあるが本当に実行できるのか。時代が変わってしまったので仕方ないかもしれないが、もっと温かみがあり、親が心配しなくても地域の皆が見ていたり、地域の人々が結婚の世話をしたりするなど、地域で声掛けするのが大事だと思う。

部会長 今回の意見は「人と人、今と未来をつなぐ」に該当する項目だと思う。地域の人と人との交流が芽生える・活性化するような取組は大事だと思うので入れてほしい。

事務局 多様な主体による取組の推進は謳っているが、現在の記載内容に直接的なものはなかったと思う。総合計画なので、細かい取組の詳細を記載するわけにはいかない部分もあるため、大きな項目の中に包含して示していくことになる。

委員 E ライフステージは分かりやすいと思うが、共通事項をどう入れていくのが難しい。SDG s はどこにも該当すると思うが、どう取り扱うのか。主な取組はこれを念頭に置いて検討していくという理解でよいか。

環境が自然保護、環境保全になっているが、環境は教育、ビジネス、農業にもかかるという観点から共通事項になるのではないかと思う。SDG s に入っていると言われればそれで終わりになるが。構成は今の形でよいと思う。

公共交通について、都市基盤と一体になる気がする。安全の部会、活力の基盤整備、両面になると思う。安全で括った理由を教えてください。

事務局 環境を「人と人、今と未来をつなぐ」に入れた理由としては、現在の自然環境を未来へつないでいこうという視点でつなぐに入れた。

環境は教育、ビジネス、農業にもかわり、再生可能エネルギーのことから新電力会社の設立等にも関連してくると思う。環境分野のぶら下がり先が今の形でよいか、表現等も含め検討したい。

部会長 個人的な意見になるが、環境を一括りにするのは無理があると思う。ばらばらにして、各分野に環境施策をちりばめていけば。環境を一括して扱わないと決めてしまえば、委員 E の質問に対しても答えることができると思う。環境と言ったら環境で括らなければとなるのは役所的な考え方である。

委員 E 自然環境を残すというベースは今の形でよいと思う。共通項目に SDG s が入っているので、主な取組の中にも環境の観点で色々入れた方がよい。

事務局 公共交通は、市民の利便性の向上、安心して暮らせるという観点で安全に入れているが、活力元気部会でも議論していただきたい。色々な分野にかかわってくる事

	<p>項だと思う。書きぶりなどは検討したい。</p>
委員 F	<p>「育つ」のライフステージについて、射水市で学びを提供するに“体験”という言葉を入れた方が分かりやすいと思った。</p> <p>射水市で働くについても、射水市ならではの、射水市をイメージしやすい文言があればよい。</p> <p>「射水市をみがく」にベイエリアと内川周辺の連携を入れるのであれば、里山も入るのではないかと思う。どこで線を引くのか。</p> <p>また、射水ブランド育成にも“体験”という言葉を入れていただきたい。</p> <p>縦串で進んでいるが、これらを実現するために横串が必要だと思う。</p>
事務局	<p>体験に関する文言については検討したい。</p> <p>里山に関する取組は含まれている。どう頭出しするかだと考える。</p>
委員 G	<p>射水市で働くについて、稼げる産業、誇れる仕事とカッコ良く記載してあるが、実際には、農業、水産、林業などは高齢化もあり守っていかなければならない産業であるため、持続可能な視点を入れてほしい。高齢化の中でいかに維持していくか。</p> <p>土地利用としては、駅前開発が遅れていると感じる。キーになる建物もないため、大きいところも変えていかないといけないと思う。そういったところも入れてほしい。</p>
委員 H	<p>「射水市で働く」に新規の取組として「女性が活躍できる環境づくりとキャリア形成支援の充実」があり活力元気部会となっている。また、男女共同参画に「女性が活躍できる社会環境づくりの推進」があり、未来創造部会となっているが、違いや新規のプラスアルファは何か。</p> <p>「射水をみがく」のシティプロモーションにインフルエンサーとの連携、SNSの活用とあるが、1年毎に発信力のある人、媒体は変わっており見極めるのが大変だと思う。観光大使を1~2年の任期としている自治体が多いが、インフルエンサーを見つけるのではなく、長いスパンで“インフルエンサーを育てる”というのもよいと思う。</p>
事務局	<p>「女性が活躍できる社会環境づくり」は、主に啓発・教育をメインに考えているが、「働く」という部分で女性が働きやすいという視点を独立させるべきということで「女性が活躍できる環境づくりとキャリア形成支援の充実」を新規で独立させた。似た文言で分かりづらいと思うので表現について検討したい。</p>
委員 I	<p>ライフステージは分かりやすくなった。各項目の主な取組について、具体的な内容の中に漠然としたものもあり、ぼやけて見える。「信頼される～」や「新しい～」などピンとこないものがあるので具体性を持たせてほしい。</p>
事務局	<p>項目のタイトルとなるので、内容がイメージしやすいよう、主な取組の表現については検討したい。</p>
副部会長	<p>全体構成案は分かりやすい。生まれてから年を重ねて老いていくまで射水市で暮らしていく想像ができる。</p> <p>共通項目がどこにあたるのか分かりづらい。共通事項で固めた方が伝わりやすいと感じる。</p> <p>また、主な取組では、同じような表現が重なっているところがあるので見直してほしい。</p> <p>ライフステージに“あなたへ”という表現があり、人に対する言葉が重要だと思うが、「射水市で働くあなたへ」の「産業の競争力を高め、地域経済の振興を図る」のトップに「経営基盤の強化」があり、普通の人はどう考えればよいのか、つまりと思う。また、「働き方の希望をかなえる企業誘致」とあるが、分かるように分からない。皆がパッと思いつくような表現に変更してはどうだろうか。</p>
委員 C	<p>3ページ自然保護、環境保全の2-3-1~2-3-2は「恵まれた自然環境を保全し、地域の伝統文化の継承を支援する」につながるが、2-3-3~2-3-4は、ゼロカーボンシ</p>

ティを意識したものになると思う。今までの自然環境を守るといふこととは根本的な思想が違うと思う。2-3-3~2-3-4 は住みたい・住み続けたいに入れた方がよいのではないか。

委員 B 資料3を見ると、全体通して「女性が～」とは出てくるが、「男性が～」とは出てこない。男性でも育児参加など取組事項はあると思う。ジェンダーに配慮して項目を立てているのに性別で分ける必要があるのかと思う。

事務局 事務局でも同様の議論があったが、現時点では取り上げるべきテーマの1つということで「女性」というキーワードを入れている。

部会長 例えばジェンダーにこだわらないなどの文言に置き換えることはできないか。ジェンダーに関わらず活躍を推進するなど。

事務局 表現を工夫するなど検討したい。

部会長 資料4について、皆さんが思う将来像について話をしていただきたい。

委員 I 知名度が全国的に高まってほしい。地図上で位置を把握してもらったり、特産物を知ってもらったり、実体験に基づいた思い出として射水市が残るのが理想。

委員 H 住むところと観光のところが別々で盛り上がるとよい。観光ゾーンはたくさんお客さんが来てお金を落としてもらおう。居住ゾーンは足りないものがない、楽しみながら暮らせる、全部集まった市になると楽しいと思う。1つの市で何でも足りるまちになるとよい。

委員 G 小さなコンパクトな市なので、そういった利点を活かしたい。立地条件がよいので、交通で港などあるものをつなげたい。そのためにはキーになるものをつくらないと進まないと思う。

委員 F 一番大事なのは「人と人との結」。助け合いができるまちになるとよい。1つ1つの集落を1つの会社と見立て、商品開発など商売しながらそこで皆で暮らしていけるまちづくり。

委員 E 射水市のイメージとして、海と山がある、工業地帯とニュータウンがある、外国人が多い、などが挙がる。この多様性をどうつなげるか。

委員 D 夏野市長は日本一すばらしい市長だと思う。そこに住む住民も日本一市民でありたい。
また、人口を増やすことが一番大事だと思う。

委員 A 今回の将来像検討資料をみると、射水市ではなく別の都市名を入れても成り立つものしか出てこない感じがする。
射水市らしいところを考えると、ダイバーシティ、インクルーシブだと思う。この大きさのまちで外国人との共生が明確にうまく進むと特徴になる。イミズスタンの話もそれにあたる。共生社会に舵を切って頑張るのも面白いと思う。

委員 C 「来るなら来てみる射水 いやなら出ていけ射水」と言えるような10年後であってほしい
全国の市のキャッチフレーズを調べるとほとんどキーワードが同じ。その中でも面白いと思ったのが「ワクワク」というキーワード老いも若きもワクワクできるような10年後の射水であるとよいと思う。

委員 B 子どもを地域や地元でみんなで育てられる環境が整った市になればよいと思う。
私が住んでいたところが温かい地域で、地域の人に可愛がってもらったり、助けてもらえる環境で育った。人と人とのつながりが薄くなってきているのがもったいないと思う。子どもを地域みんなで育てていけるようになると豊かな心で成長していけると思う。

副部会長	育ってきたときに、よい記憶が残る人がたくさんいるとよい。よい記憶が人に語られる、自慢できる環境になればよい。 射水と漢字で書いてあっても読み方が分からない外の人もいるので、そこを逆手にとって射水とあえて呼ばせるような人づくりができればと思う。
部会長	本日いただいた意見等については、次回の部会での協議資料に反映する。次回資料への反映については事務局と私に一任してほしい。 (異議なし)

4 その他

部会長	最後に事務局から連絡等はあるか。
事務局	次回の部会を5月18日(水)午前10時から、本庁舎2階で開催を予定している。また、全体会については、5月31日(火)午後7時からの開催を予定している。

5 閉会

以上

射水市総合計画審議会 第2回安全安心部会 会議録(要旨)

日時 令和4年4月19日(火) 午後7時~8時30分

場所 射水市役所本庁舎3階302~304会議室

出席者

(委員)

上田秀永、加治幸大、門田晋、木田和典(リモート参加)、鈴木真由美、高市洋介(リモート参加)、辻ゆかり、釣谷隆行

欠席委員:大坪清治、川原辰弥

オブザーバー:大西宏治、松本三千人(リモート参加)

(当局)

現地参加

長谷川市民生活部長、小見福祉保健部長、小川財務管理部次長、松下市民生活次長、京角市民生活部副参事(環境課長)、轟福祉保健部次長、明野生活安全課長、山口地域福祉課長、竹内社会福祉課長、菓子介護保険課長、明保険年金課長、高岡保健センター所長、杉本企画管理部次長、菅原政策推進課長

リモート参加

島多市民病院長、中野市民病院事務局長、竹内消防長、糸岡市民病院事務局長(経営管理課長)、土居消防本部次長、下村医事課長、大隅総務課長、小路防災課長

1 開会

2 部会長あいさつ

3 議事

(1) 全体構成について

政策推進課長	資料1~4に基づき説明
部会長	資料2の全体構成について意見をいただきたい。
委員A	説明の中に市民目線という言葉が何度も出てきたが、前回の案から今回の案では、どのようなところで市民目線として変更したのか。
事務局	資料1(旧)は、4部構成で主に行政分野ごとに集約していた。資料2(新)は計画を見た方の立場によってどこを見れば自分の状況に合うか直感的に分かりやすい構成に変更した。
委員A	前回の会議で市民からのアンケートを広くとるべきと意見した。資料4には色々な意見が集約されているが、これは改めてとったものか。前回とどの様に変更したのか。
事務局	昨年度に実施した市民意識調査を参考にしたもので、新たにアンケートをとったものではない。資料2は資料1を再構成したものだが、資料1を作成した段階でアンケートやまちづくりミーティングなどを反映したものになっている。
委員A	世界情勢は昨年と比べて目まぐるしく変わっている。第3次総合計画が世に出る

のは先であることを考えると、新しい市民の考え・思いを拾い上げて反映するべきだと思う。

ウェルビーイングは、どの立場で見る観点になるのか。

事務局

市民目線、市民の立場での幸せという観点である。

委員 A

前回の会議で県の成長戦略会議の資料が提出されていたが、県の資料を参考にしながら射水市独自の考え方を示すなど、県とも整合性をとるような枠組みがあると分かりやすいと思う。

委員 B

ライフステージごとの枠組みは分かりやすいと思った。また、短いキーワードも見やすく感じた。

委員 C

前回と比較して、ライフステージごとの枠組みは分かりやすいと思った。

委員 D

前回から全体構成がブラッシュアップされ見やすくなった。若い世代、子育て世代、現役世代にも希望がもてる内容となっている。今から社会に向かうであろう 10代など若い人たちが、これからも射水市に住み、暮らし、生活することに希望が持てるようにブラッシュアップすることができればと思う。

委員 E

医療の現場でも生活習慣病などライフステージで見ている。多くの人にとって身近なこととして受け止めてもらえると思う。

ウェルビーイングの観点についても、主語に「私は」「自分は」とつけて文章を読むと、受け止められる形でまとめてあり筋が通っていると思う。

基本計画の「アフターコロナのまちづくり」について、コロナ禍はまだ続くと考えるとウィズコロナ・アフターコロナとした方がよいと思う。

副部会長

見やすく、感じやすくなったと思う。ただ、射水らしさをもう少し強調するために射水でなければだめだという部分が見えるとよい。観光資源などをアピールしてはどうか。

若い世代イコール学生の意見と思っていたが、小さな子どもを持つ家庭も含まれると思う。そういった人が望んでいるのは近くに遊び場がないことへの対応。関係人口を増やすというためにも、テーマパークをつくるなど富山、高岡にないものがあるとよいと思う。

部会長

遊び場としてハコがあるとインパクトがあるが、今ある射水市の遊び場にも隠れてよい所もあり、若者、市民に知られていないものもあると思う。ツアーなどの発信があるとよい。

部会長

資料3についてご意見をいただきたい。

委員 D

新規として加えられているのは、現状を踏まえた形で盛り込んでいただき大事な部分だと思う。全体的にはこれでよいが、ともに動く観点を強調していただければありがたい。これからは限られた資源の中で、人材、想い、知恵などを持ち寄りながら活動していく時代になると思う。ともに働き動くという形でより良い射水市をつくり上げる計画になれば良い。

部会長

「射水市とつながるあなたへ」の 4-1-1 辺りに協働市民参画があり、こことも関連していると思うが、ライフステージの中にも多少あった方がよいつながりになると思う。

副部会長

「自分らしくあなたらしく」に安心という単語が多く並んでいる。安心を「誰もが健やかに支え合い自分らしく暮らしていける」のように置き換えると柔らかくなると思う。

これからはリーダーが地域をまとめて、ボランティアなどを育てていく視点が必要だと思う。そういった視点もどこかに入れることができれば。

委員 A

参考資料2の主な取組にある充実、推進、構築の考え方を教えてほしい。

事務局	言葉の使い方を統一しているわけではない。取組状況にも差があり、状況に合わせて担当部局で考えて記載している。
委員 A	言葉の意味は重要だと思うので、今後内容を詰めていく際に意味合いを整理してもらえると分かりやすくなると思う。 共通項目として DX の推進があり、取組事項に DX ビジョンの推進とあるが、DX ビジョンは元々あるものなのか、新たにつくるものなのか教えてほしい。
企画管理部 次長	DX ビジョンは昨年 8 月に策定した。「つなぐ」をテーマとして、庁内にワーキンググループをつくったり、大学等と連携しながらスタートした。
委員 A	DX ビジョンを参考資料として提出してほしい。また、DX による具体的な取組は雪対策のところだけ。力を入れていくのであれば、各項目に DX が含まれるなど検討してもらえればと思う。
委員 C	地域医療に市民病院と市内医療機関との連携、機能分担等があるが、交通網に MaaS（マース）という考え方があり、医療機関とタクシーなどの移送サービスを連携することにより、スムーズに医療を受けることができる体制づくりも必要だと思う。
委員 E	医療だけではなくワクチン接種などでも移動が必要。市民病院を中心として交通網を拡充するのはうまくいくと思うが、医師会の各医療機関への交通網の拡充は、医療機関の状況も様々なため、一環した枠組みをつくと患者の自由な診療行為を損なうことにつながる可能性があるかと懸念している。
部会長	「射水で年を重ねるあなたへ」の取組をみると、介護保険など健康に関連したものが並んでおり、「射水で暮らすあなたへ」の「自分らしくあなたらしく」にも健康の項目があり、つなげることができるかと思つた。
委員 F	活力元気部会では、「共通事項」は本来全部を考える基盤になるので位置を入れ替える必要があるのではといった議論があつた。総合計画をどう構築していくのかというところから議論すると新たな気付きが生まれるかもしれないと感じた。 また、いまのライフステージは所謂一般的なものを示しているのだから、そこからこぼれ落ちているものは何かということも考えてもらえるとありがたい。
委員 E	健やかに育つこと、心も体も健康であることを良しとするという前提のライフステージになっている。弱者に対して優しい射水だと思うので、そういった視点をどこに入れていくのか、計画にどう表すかだと思う。
部会長	ウェルビーイングが目指すところなので、今困っている人が生き生きと過ごすために基本目標があると思う。パッと見た時にイメージできるか、見せ方が大事かと思う。外れた方となると「自分らしくあなたらしく」に入ってしまうかなと思うが。
福祉保健部 長	「自分らしく あなたらしく」のウェルビーイングの観点について、健やかということだけが大きな目標なわけではなく、まずは皆が生きていくということを大きな観点にすると、健やかを入れるかどうか検討していただくこともありだと思う。
部会長	色々なレベルの健やかがあり、今よりも少しレベルが上の健やかを目指すなど、「より」という言葉を入れると変わらないか。健やかをすべて取ってしまうのは違うのかなと個人的には思う。
委員 D	弱者をどう支援していくのかという観点のものは盛り込まれているが、もう一歩進んだ形で、どのような立場の方でも自立して生活できるまでいけるとよい。障がいのある人や外国籍の人など、色々な人が生活基盤を確立できるまちづくりまで踏み込めるとよい。
部会長	本日いただいた意見等については、次回の部会での協議資料に反映する。将来像についての意見は次回に聞く。次回資料への反映については事務局と部会長、副部会長に一任してほしい。

(異議なし)

4 その他

事務局

次回の部会は5月17日(火)午後7時から、本庁舎2階で開催を予定している。また、全体会については、5月31日(火)午後7時からの開催を予定している。

5 閉会

以上

射水市総合計画審議会 第2回未来創造部会 会議録

日 時 令和4年4月20日(水) 午前10時～11時30分

場 所 射水市役所本庁舎3階会議室

出席者

(委員)

明石あおい、朝倉あゆみ、飯山進、荻浦明希子、樋上正之、二川由利子、松本三千人、松本吉晴、宮城克文、宮田妙子、宮田雅人

欠席委員：なし

オブザーバー：鈴木真由美(リモート参加)

(当局)

桜川議会事務局長、長谷川市民生活部長、小見福祉保健部長、宮本産業経済部長、渡邊会計管理者(会計課長)、久々江教育委員会事務局長、吉岡監査委員事務局長、杉本企画管理部次長、中川財務管理部次長、松下市民生活部次長、轟福祉保健部次長、福井産業経済部次長、塩谷教育委員会事務局長次長(生涯学習・スポーツ課長)、六渡教育委員会事務局長次長、森田未来創造課長、四日人事課長、作道総務課長、坂井財政課長、佐藤資産経営課長、高橋課税課長、鎧塚収納対策課長、野崎検査監、齊木地域振興・文化課長、板坂市民課長、大居子育て支援課長、星野学校教育課長、片口監査委員事務局長次長、菅原政策推進課長

1 開会

2 部会長あいさつ

3 議事

(1) 全体構成について

政策推進課長	資料1～4に基づき説明
部会長	資料2について意見をいただきたい。
委員A	見やすい構成になった。理解しやすいと思う。 ウェルビーイングの観点として、「希望する結婚・出産をかなえることができる」について、高校生や大学生の学びの時点で、将来に向けて結婚したい、家庭を持ちたい、子どもを持ちたいという想いにつながる学習機会を組み込めたらと思う。
委員B	分かりやすくなったと感じた。その中で残念だと感じた部分として、資料2の中から女性という言葉がなくなった。どこかにほしい。
委員C	うまくまとまっており、市民と向き合う姿勢があると感じた。 市民協働がライフステージの中の目標、取組に全くない。つながるにごっそり移っているように思う。「ライフステージ」の部分は市内在住者向けの取組をまとめたもの。「つながる」の部分は、関係人口など他市在住の人と分けているのか。協働が外部の人だけと間違った印象を与えないように、もうひと工夫ほしい。
事務局	つながるには市外の人だけではなく、市内の市民同士のつながりなども謳っている。「射水とつなぐ」に協働・市民参画があり、ここで市民協働、人と人とのつな

がりという部分を謳うという構成になっている。

委員 C 見た時に間違った印象を持たれないよう、表現、見せ方を工夫してほしい。

委員 D 市民目線で分かりやすい構成になっていると思うが、各部、章の数が非常に多いと感じる。また、資料3で、主な取組が200を超える数になり、これにそれぞれ文章がついてくる。大変だと思う。これは現行計画でいう「細節」になるのか。とすればこの主な取組を束ねる「節」があった方がわかりやすいのではないか。

ライフステージの項目として、「年を重ねるあなたへ」とあるが、この表現は良い意味にも悪い意味にも捉えられる。例えば、「熟年のあなたへ」としたらどうか。

また、高齢者福祉は、地域支え合いネットワークで取り組んでいる事業であり、「暮らす」と「年を重ねる」にそれぞれ施策を小出しにすると関連性が薄くなるような気がする。「年を重ねる」の部分は、どこかに含められないか。

「稼げる」など抵抗を感じる表現があるので、それもあわせて検討していただきたい。

部会長 表現も含めて、いただいた意見を検討する。

事務局 会長、副会長に事前に説明してご理解いただいたのは、ライフステージの枠組みで進めることに対してであり、細かな文言や部の構成などは確定したものではない。

表現について、「年を重ねる」の部分は熟慮の末のもの。よい表現があれば意見をいただきたい。「稼げる」はあえて直接的な表現とした。

委員 E 構成案は全体として分かりやすくまとまっていると感じた。

コロナ禍において在宅勤務が広まっており、勤務形態の多様化は射水市にとっても明るい材料だと思う。Uターンのネックである働く場については、リモートワークが定着すれば解決につながると思う。環境を整え、市外へ流出した若者が戻ってくれば、明るい兆しが見えると思う。

委員 F 新しい全体構成は以前に比べて分かりやすく、市民が自分ごととして計画を見ようと思ってくれるのではないか。その上で、旧体系にはあった女性活躍、男女共同参画がなくなった。要素として落とし込んでいたのであれば、共通事項の中に男女共同参画を入れてみるとよいと思う。

「生涯を通じて学び、心豊かに人生を楽しんでいる」が、若い人や学生だと違和感がある。生涯学習だけではないと思うが、「射水で年を重ねるあなたへ」の方がしっくりくる。

今と未来をつなぐとあるが、文化継承の観点では過去と未来をつなぐというものがあると思う。要素として入っているのかもしれないが。

「信頼される行政運営により、市民が豊かさを感じている」の表現について、信頼に対しては豊かさだけでなく、安心もあると思う。「市民が安心と豊かさを感じている」としてもよいと思った。

また、安心は他のウェルビーイングの観点には多く出てくる。活躍、成長といったワクワクするような表現がどこかにあってもよいと思う。

委員 G ライフステージで分けたことで分かりやすくなった。しかし、落とし込んでいく取組が縦割りになってしまったり、自分ごとに見えて他人事にも見えるといったことなどメリット・デメリットがあると思う。女性活用などのキーワードを入れてメリット・デメリットを踏まえた上で、もう少し分かりやすくする必要があると思う。

構成から基本計画、取組という流れの中でつながりが大事だと思う。

委員 H 全体構成としてよくまとめられた印象を持ったが、取組の内容の数が多いと思う。こういった取組は増えることがあっても減ることはないと思う。多すぎると一番伝えたいことがぼやけると思う。

PTA では子どもは未来の宝としているが、ライフステージが大人目線になってい

る。大人が射水で子育てをしたいというのも大事だが、子ども達が射水市に住みたい、学びたいと思えるような目線を忘れないでほしい。

言葉が抽象的になりがちだが、誰に向けてメッセージを発信しているか分かるようにキーワードを入れてほしい。

委員 I

資料 2 を見ると分かりやすくなったと思う。特によいと感じるのは「あなたへ」と「あなた」にフォーカスしているところ。ただ、記載することで漏れてしまう部分や疎外感を感じる人が出てきてしまうと思う。分かりやすさは諸刃の剣になる。

「生まれる」から始まっているが、生まれ出た瞬間に「希望する結婚、出産をかなえる」だと重く感じる。生まれた瞬間に、あなたは結婚しなさい、子どもを産みなさいと言われていた気がする。生まれ出てきて、まずはこのまちが好きだと思ってもらえるような章立てにしなければならぬと思う。

ウェルビーイングの視点として「目指す市民の姿」が記載されているが、「あなたへ」と言っているのに、なぜ目指さないといけないのかと思う。もっと抽象的で本質的なことだけでよいのでは。

地域との関わり・協働について、個と行政という構図になっているが、色々な人が関わり合って生きるという要素を表現として入れてほしい。

部会長

ここで示されているライフステージは所謂標準的なモデルケースで、ここから外れた人、疎外感を感じる人も計画の中で見守っていく、ということが分かるように工夫する必要があるという議論が、他の部会でもあった。

副部会長

キーワードとして「多文化共生」がなくなったのは残念だと思った。例えば共通事項のインクルージョンの推進に多文化共生を追加して「多文化共生・インクルージョンの推進」とするなど、多文化共生を追加してもらえると嬉しい。

フランスで出生率が上がっているのは、結婚している、していないに関わらず手厚く支援してもらっているから。結婚を前提とした出産ではなく、ひとりでも安心して出産して子育てできる環境をつくることができれば、射水市に住めば安心して子育てできると思ってもらえる。

部会長

共通事項は社会背景、時代を反映したものであり、基本方針的なものではないかという議論が他の部会であった。この件について意見があればお聞きしたい。

また、6つの共通事項があるが、ものすごいスピードで進化しており予測不能な時代だと言われている。そういったことも考慮すべき。

委員 D

共通事項が浮いている、関連性が読めない。表現を工夫するなどして、基本方針との関係性を示してほしい。

委員 I

DX や SDGs はツール・方法であり、基本方針ほどトーンが大きいものではないと思う。最初にベースとなる考え方があるのはよいと思う。ベースとなる考え方と共通事項や VUCA の考え方を散りばめる。

その上でこれから生き抜くためのツール・方法として、地方創生や DX などがあるとい位置付けもありだと思ふ。

部会長

「射水で年を重ねるあなたへ」の中に、介護予防・日常生活支援の充実、認知症施策の充実などが挙がっているが、「自分らしくあなたらしく」の 100 歳体操等の介護予防、フレイル対策、認知症予防の推進などと連携させて括ってもよいと思う。

委員 D

「年を重ねる」をもう一工夫してほしい。今取り組んでいること、これから力を入れる取組を整理してほしい。他の文章との関連性を強めてほしい。

学校教育に新規として挙がっている 2 つは抽象的に感じる。以前は「学校生活における相談支援の充実」という言葉があったが、これはどこにいったか教えてほしい。

事務局

「学校生活における相談支援の充実」は新規の取組に統合したいという思惑で、表現を抽象的にした。

委員 D

文章化していくにあたり「学校生活における相談支援の充実」はぜひ表現してほ

しい。そうでないと文章そのものに具体性がなくなってしまう。

高等教育機関等の取組が3つとも新規として出しているが、似たようなものが「つなぐ」にもある。取組の観点が違うというのは分かるが、わざわざ細分化する必要があるのかと思う。離れてしまうことにより見逃してしまうことが出てくるのではと思う。高等教育に関する取組を1つにまとめてもよいのでは。検討していただきたい。

部会長 高等教育機関に属するものとして、個人的には高等教育機関等の誘致や市内高等教育機関の機能向上への支援に期待している。VUCA の時代を生き抜くためには教育が重要。そのために教育機関を充実させることは重要になると思う。

部会長 資料4 将来像について、キーワードや思いがあれば聞きたい。
キーワードとして「ワクワク射水」を出した。これからはAI 技術、情報技術が進展し、人間の仕事がロボットに置き換えられると思う。その際に、だからこそ人間にしかできないことができる環境がないといけない。射水市で生活するあらゆる人が色々なことにワクワクを感じられる環境であってほしい。

副部会長 「射水型ダイバーシティ・多文化共生」を出した。地方都市ならではのダイバーシティ政策を射水市でできればと思う。
また、キーワードとして「幸福度日本一」を挙げた。
「オーガニック市」も挙げた。2050 年までに有機農業を 25%にしていると言っているが富山県は進んでいない。射水市がいち早く手を付けてもらえたらと思う。

部会長 本日いただいた意見等については、次回の部会での協議資料に反映する。次回資料への反映については事務局と部会長、副部会長に一任してほしい。
(異議なし)

4 その他

事務局 次回の部会を5月17日(火)午前10時から、本庁舎2階で開催を予定している。また、全体会については、5月31日(火)午後7時の開催を予定している。

5 閉会

以上